

Laos-Japan Human Resource Development Institute

ビジネス・教育分野で自治体・企業・
大学等の皆様をお手伝いいたします。

ラオス日本センターは、日本の政府開発援助(ODA)で設立された世界9カ国10拠点にある日本センターの一つです。「ビジネス人材育成と日本・ラオス両国間の相互理解促進」を目的として2001年に設立されました。「日本の顔」となる拠点の一つとして20年に亘る事業運営により、現地での高い信用と集客力(年間来館者数約2万人)を築いてきました。ラオス日本センターは、首都ビエンチャンのラオス国立大学内に拠点を構え、同大学の一機関として運営されており、日本の国際協力機構(JICA)と国際交流基金(JF)がその運営を支援しています。

ラオスと日本の
信頼の架け橋



Laos-Japan Human Resource Development Institute (LJI)



ラオス日本センター



ラオスの基本情報



ラオス人民民主共和国
(Lao People's Democratic Republic)



約 **710** 万人
(2019年、ラオス計画投資省)



24 万km²



首都

ビエンチャン



言語

ラオス語



民族

ラオ族

(全人口の約半数以上)
を含む計50民族



宗教

仏教



日本との
時差

−2時間



通貨

キープ
(Kip)



サービス業 (40%)
農業 (16%) 工業 (33%)
物税・関税 (11%)



名目GDP
2020年 191 億ドル

実質GDP
成長率

0.5 %

一人当たり
名目GDP

2,630 ドル



1ドル = 11,424
キープ



貿易

輸出 約 56.8 億ドル

輸入 約 50.7 億ドル

(2020年、ラオス商工業省)

[主要品目]
電力、金、金鉱石

[主要品目]
機械類、ディーゼル、
車両



主要な貿易
相手国

タイ、中国、
ベトナム他

(2020年、ラオス商工業省)



主要援助国

- ①ADB ④韓国
- ②日本 ⑤米国
- ③IDA

(2019年、OECD/DAC)



ラオス
在住の邦人

833 人

(2020年10月現在、海外在留邦人数調査統計)

日本在住の
ラオス人

2,872 人

(※4)

就労資格者

584 人

(内、特定技能 37人、
技能実習 448人)

非就労資格者

374 人

(内、留学 222人)

居住資格者

1,914 人



就学率

初等教育卒業

85.9 %

(※5) (2017年)

中等教育卒業

52.6 % 31.1 %

前期 後期

高等教育修了

8.2 %

出所：(※1)～(※5)を除き、外務省ホームページ「ラオス人民民主共和国(Lao People's Democratic Republic)基礎データ(令和3年7月2日)」。(※1)ラオス統計局 Yearbook 2020。(※2)World Bank [World Development Indicators, 及びLao PDR Economic Monitor, Aug 2021]。(※3)BCEL (2022/1/28 Buy Rates)。(※4)出入国在留管理庁「在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表(2021年6月調査)」。(※5)World Bank, Education Statistics

メコン川が育む豊かな自然

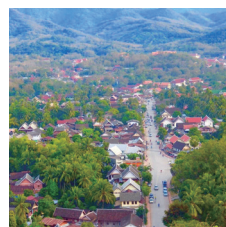
ラオスは東南アジアの中心に位置する内陸国で、南北に細長く、日本の本州とほぼ同じ面積を有しています。熱帯モンスーン気候帯に属し、年間雨量は1,600～3,000mmと恵まれた気候環境です。また、首都ビエンチャンから南部のパクセーにかけてタイとの国境沿いに流れるメコン川とその支流により水資源にも非常に恵まれています。



タート・クワンシーの滝
(ルアンパバーン近隣)

古代から伝わる美しい文化と伝統に世界中が注目

仏教国として文化的な遺産を数多く残しています。フランス植民地時代の面影を色濃く残し町全体が世界遺産に登録されているルアンパバーン、アンコール王朝の基礎をつくった巨大な世界遺産寺院で有名なワット・プー、内戦の激戦地としての傷跡が残るものの巨大石壺「ジャール」で知られる謎多きシェンクワンなど、世界中から高い評価を受け続ける観光資源はラオスの大きな魅力です。



古都ルアンパバーンの
街並み



ラオスの伝統衣装
(ラオス日本センター主催
お正月祭りにて)

政治的に安定

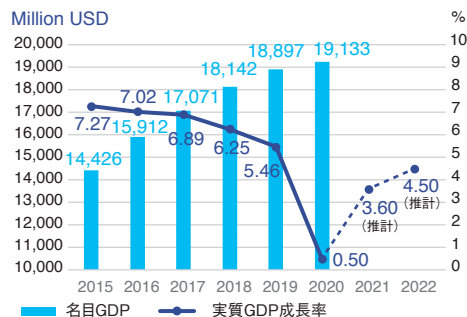
ラオスの政治制度は、人民革命党による一党指導体制となっており、党幹部が各国家机关の幹部を兼任しています。党大会は5年毎に開催され、2021年1月の第11回党大会では、改革・開放路線の維持が確認されました。現職としてはトンルン・シースリット国家主席兼書記長がラオスの国家元首であり、安定的な政治運営が維持されています。外交面でも各国とのバランスに配慮した善隣・全方位外交を推進しており、伝統的な親日国でもあります。

高い経済成長率を牽引するものと、公的債務問題の影

近年7%前後の高い経済成長率を維持し、首都ビエンチャン市内では朝夕の渋滞、ビルなどの建設ラッシュが続く熱気あふれるラオス。後発開発途上国からの脱却を目指し、近隣国との物流強化に加え、水資源を活用した水力などの電源開発、金属鉱物資源などの豊富な埋蔵量をもとにした天然資源開発を進めた結果、電力、金、金鉱物などが主要輸出品目として外貨獲得を牽引しています。コロナ禍により2020年に成長率が落ち込んだものの、2021-2025年の第9次経済・社会開発5カ年計画案では、年平均4%以上を成長目標に掲げ持続可能な成長を目指しています。

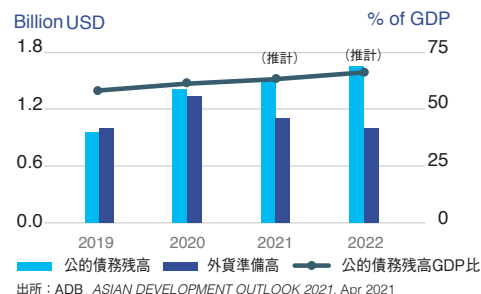
こうした経済成長は一方では海外資金・援助に下支えされてきた面もあります。近年では対外公的債務が膨らみ外貨繰り懸念が増してきており、米国格付機関のムーディーズが2020年1月にCaa2へ、およびフィッチが2020年9月にトリプルCへ格下げしており、今後の資金調達条件は厳しい様相となってきました。また、公的債務の内訳をみると、近年では中国への依存度が高まっています。

■ ラオスの経済指標経年変化



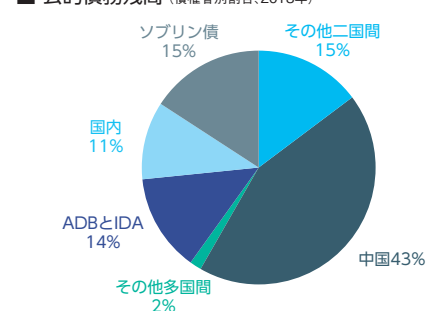
出所：World Bank, [World Development Indicators, 及びLao PDR Economic Monitor, Aug 2021]

■ 公的債務残高と外貨準備高



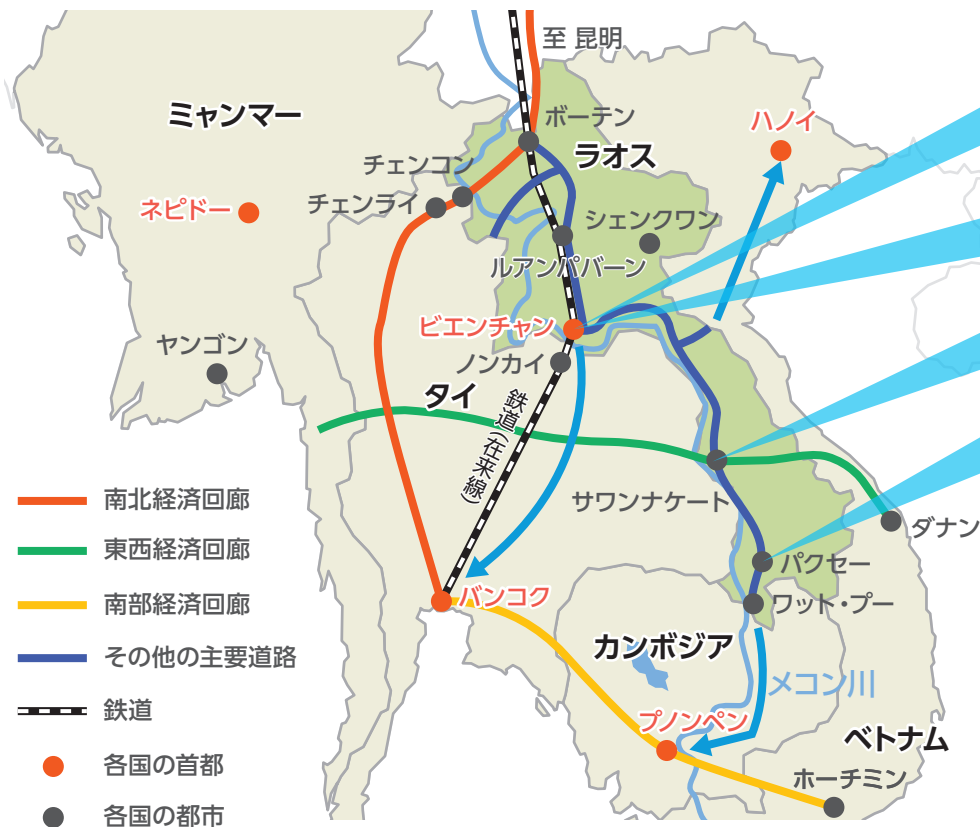
出所：ADB ASIAN DEVELOPMENT OUTLOOK 2021, Apr 2021

■ 公的債務残高 (債権者別割合、2018年)



出所：IMF Lao People's Democratic Republic: Debt Sustainability Analysis, Aug 2019

ラオスの交通網と日系企業が進出する経済特区



日系企業が操業する経済特区

(2020年6月現在)

ビタパーク経済特区(ビエンチャン)

サイセター総合開発区(ビエンチャン)

サワン・セノ経済特区(サワンナケート)

パクセー・ジャパン
中小企業専用経済特区(パクセー)

若い人口構成、労賃の安さ、温和な性格 改善余地残る就学状況

25歳未満の人口が全体の約50%を占め、労働人口(15歳以上)は約380万人と若い人口構成となっています。また、近隣国であるタイ、ベトナム、カンボジア等と比べ労賃が安く、比較的温和な人材が多いというのがラオス人材の最大の魅力といえます。他方で就学状況については、初等教育卒業者は多いものの高等教育修了者となるとまだまだ少なく改善の余地が残る状況と言えます。

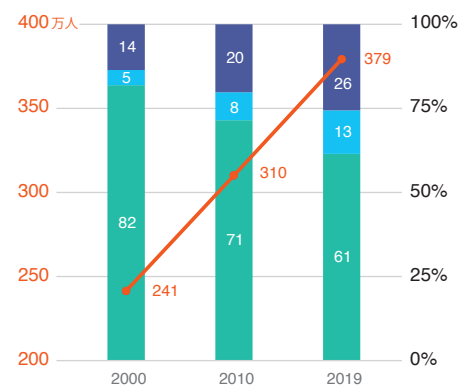
「ランドロック」から「ランドリンク」国家へ、「プラスワン」としての期待

ASEAN諸国唯一の内陸国であるラオスは「ランドロック」の国として物流の難しさが課題とされてきました。近年では周辺国との連結性をより向上させ、「ランドリンク」国家を目指し、多くの国道や橋梁建設プロジェクトが進行し、片荷輸送等の問題解消を目指してビエンチャン周辺には物流中核施設整備が進められています。特に、タイとベトナムにとっては両国間の陸路輸送でラオスを通する必要があり、東西経済回廊を活用してタイ・ラオス・ベトナムの3国間輸送サービスを提供する日系企業も現れました。さらに2019年8月にはラオスとタイ間の鉄道による越境貨物輸送が開始され、2021年12月には中国雲南省昆明とビエンチャンを結ぶ中国ラオス鉄道が開通しています。こうした背景から、タイ、ベトナム、中国等への進出企業にとっては生産分業拠点として、あるいは消費市場としてラオスへの期待が高まっています。

就労人口の多くが農業に従事し 製造業が弱く製品輸入依存 一方で工業・サービス業分野へのシフト化、 ビジネス勃興期の兆候も

2019年には農業従事者が61%を占める一方で、産業別GDP構成比では農業は16%にとどまり生産性向上が課題の一つとなっています。また近年では工業やサービス業に従事する就労人口が伸びてきており、ラオス企業数の約75%が2010~2019年に操業しているなど、ビジネス勃興期を迎えています。しかしながら資源輸出と製品(生活用品から産業用品まで)輸入に依存する構造からは抜けきれていない状況です。

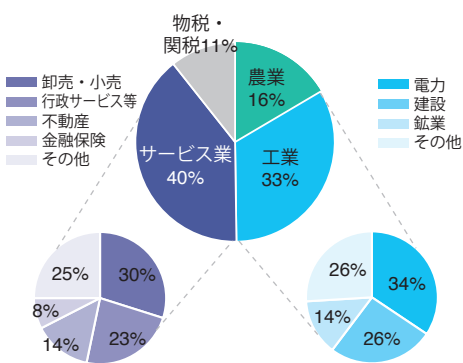
産業別労働人口



出所: World Bank, World Development Indicators

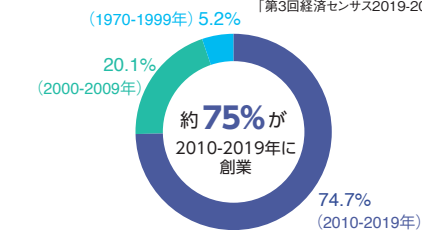
産業別GDP構成比

出所: ラオス統計局 Yearbook 2020



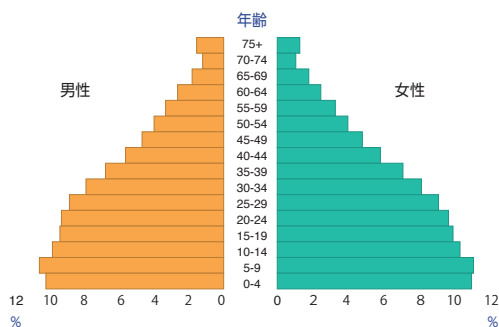
ラオス企業の操業時期別企業割合

出所: ラオス統計局
「第3回経済センサス2019-2020」



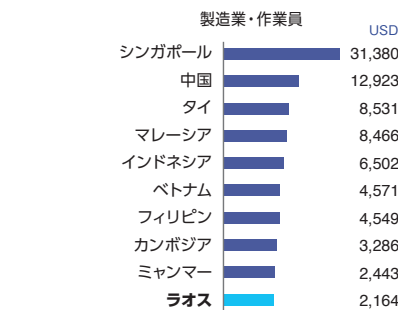
ラオスの2020年人口ピラミッド

出所: ラオス統計局 Yearbook 2020



ラオス人材の件数 (年間実負担額 USD)

出所: JETRO「2021年度海外進出日系企業実態調査 アジア・オセアニア編」



JICAスキームを活用する日系民間企業

近年では官民連携スキームとしてJICA民間連携事業を活用してラオス進出を目指す企業も見られるようになってきました。

ラオスに眠る固有植物の発掘と加工(ツジコー)



ラオス日本センターの事業

目的：ビジネス人材育成と日本・ラオス両国間の相互理解促進

20年の歴史、
高い信用と集客力

運営を日本が支援
(日本人専門家常時在籍)

日本の方々に対しては
日本語での業務対応可能

「日本的経営」がベース
ビジネス人材育成事業
(JICA支援)

新しい活動や価値を創造する
プラットフォーム事業

日本とラオスの
友好と信頼を育む
**日本とラオスの
相互理解促進事業**

実際に使える
日本語を教える
日本語教育事業
(JF支援)

ラオス日本センターは、ビジネス人材育成事業、日本語教育事業、
および日本とラオスの相互理解促進事業と、これら三事業で培ったノウハウとネットワークを活用し、
新しい活動・価値を創造する プラットフォーム事業を進めています。

「日本的経営」がベース

ビジネス人材育成事業 (JICA支援)

特色

- 実務に直接役立つ講義内容
- 累計参加者15,000人以上、参加者満足度90%以上
- スタートアップから経営者育成までをカバー
- 講師は日本人を含む外国人講師とラオス人講師

種類

- **ビジネスコース**
総合(経営者育成)、単科、テーラーメイド研修
- **MBAプログラム**(2008年開始) 修士学位、夜間2年制
- **スタートアップ起業家育成・スケールアップ支援**



MBAプログラム(修了式の様子)



ビジネスコース
(現地中小企業の若手経営者のリーダーシップ、
管理能力育成講座など)

実際に使える日本語を教える

日本語教育事業 (JF支援)

特色

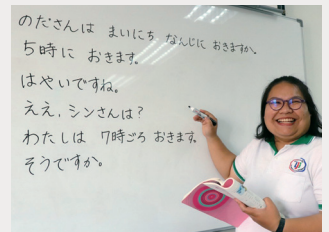
- 場面を想定した会話訓練を重視
- 経験豊富なラオス・日本の講師陣によるチームティーチング
- 日本語の背景にある日本文化も紹介

種類

- **日本語コース**
初級から中級(日本語能力試験N3程度)までの
8段階のレギュラー講座、
特別講座(テーラーメイド研修、ビジネス日本語等)、
日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト
- **各種セミナーなど日本語教育普及活動**
日本語セミナー、日本文化体験コース



日本の文化紹介
(学生への茶道体験ワークショップ)



日本語コースでの授業風景

日本とラオスの友好と信頼を育む

日本とラオスの相互理解促進事業

特色

- 留学・奨学金制度や各大学学校案内までを網羅した
日本留学フェア(オンライン対応可能)
- 日本語教育やビジネスコース関係者、日系企業なども
参加する人材・文化交流機会を提供
- 日本語の書籍や新聞を数多く収蔵する図書室

種類

- **日本留学フェア**
ラオス日本センター内開催、又はオンライン開催
- **日本とラオスの文化紹介イベント**
年間行事、ワークショップイベント
- **図書室・展示スペース運営**
企業商品紹介展示、試食会、ピッチイベント、
浴衣・茶道具等の備品貸出



在ラオス日本人へラオス料理等を
日本語で紹介



ラオス日本センター内で運営する図書室
(日本書籍紹介イベント等も開催)

新しい活動や価値を創造する

プラットフォーム事業

特色

- 既存三事業のノウハウとビジネス・教育分野で培った
ネットワークの活用
- ラオスや日本だけでなくラオス近隣諸国を含めた交流

種類

- **日本とラオス・近隣諸国間のビジネス・大学交流支援や
セミナー開催**
近隣諸国連携プログラム・セミナー、大学間シンポジウム、
現地スタディツアー
- **ラオス人材の日本就労支援** 就職フェア、個別相談
- **ビジネスコンペティション・ピッチイベント・
ハンズオン支援**
社会課題解決などを旨とするラオス企業への支援



近隣国タイの生産工場現場を
見学するMBAプログラム受講者



オンライン合同セミナー(ASEAN3か国
(ベトナム、カンボジア、ラオス)の日本センター共催、
「日本の長寿企業から学ぶ」プログラムとして
「たねやグループ(滋賀県)」、「天彦産業(大阪府)」、
「フマキラーベトナム(ベトナム)」による講演

日本企業・自治体のみなさまへ

ラオス日本センターは、これまでの活動・ネットワークを活用して、現地日本企業支援や、日本とラオスとのビジネス・人的交流を促進するため、以下のサービスを提供しています。

質の高い人材育成コース

ラオス日本センターは、長年にわたるJICA及びJFの支援により育成された質の高い講師陣を擁しており、現地事情に則した多様な研修コースを提供しています。現地日系企業の職員育成などに、是非、当センターのビジネスコース及び日本語教育をご活用ください。

特に、個別のご希望に合わせたテーラーメイドのビジネス研修・コンサルティングや日本語教育講座のご提案も可能です。



テーラーメイド研修

日本的経営を理解する 現地企業との交流機会

ラオス日本センターは、累計参加者1.5万人を超えるビジネス研修を通じ、ラオス企業と広くネットワークを有しており、日本企業・自治体のご希望に応じ、同ネットワークを活用して現地ビジネス事情のご説明・ご相談、ラオス企業の視察・交流会などを実施しています。過去には川崎商工会議所メンバー企業の現地視察支援等や、ラオス企業と日本企業とのネットワーキングイベント開催などの実績もあります。

なお、2014年にJETROビエンチャン事務所が開設されたことから、これらの活動については、随時、同事務所のご支援を受けて実施しております。

また、当センター内には企業展示スペースが設けられており、企業・商品紹介ブースとしてご利用いただいております。



日本・ラオス企業関係者の交流会
(在ラオス日本大使公邸にて)

ラオス人材の日本就労支援

ラオスは他のASEAN諸国に比べ日本で就労している人材は限られていますが、日本語人材、IT人材、農業人材など一定数は存在します。さらに、政府がラオス人材の日本就労に前向きであることや、仏教徒であり行間・空気を読むような日本人の気質に近い人材が豊富なことがラオスの大きな魅力と言えます。

ラオス日本センターでは、良好な労働環境をご提供いただける日本企業へのラオス人材の就職、円滑な日本就労開始・継続を支援するとともに、日本での経験・知識を活かしたラオス帰国後の就職・起業の支援を目指しています。

日本企業・自治体向けに以下のサービスをご提供しております。

(1)個別の日本企業(日系企業)の就職募集説明会・面接会開催
既に外国人材が活躍されている日本企業については、ご希望に応じて就職募集説明会・面接会をアレンジいたします。

(2)日本就職準備研修

日本企業・自治体のご希望に応じ、日本就職予定者を対象として、オーダーメイドの日本語教育や、日本のビジネス常識、日本の生活案内などの事前研修を実施いたします(2022年9月開始予定)。

(3)自治体連携によるラオス人材日本就労支援

将来の地域産業の担い手として外国人材確保を目指している自治体と連携して、当該自治体の地域への継続的なラオス人材の就職・就労を支援する仕組みづくりを検討しております。あまり知られていないラオスの魅力・概況をご紹介する講座などのご要望についてもご相談可能です。ご関心のある自治体は是非ご連絡ください。



日本企業による就職募集説明会

日本企業・団体のCSR活動支援

日本企業・団体が、ラオスの学生に奨学金を支給するなど、CSR活動を行う場合は、候補者の人選など現地業務に関して支援を行っております。



Y-E-S奨励賞(本田財団)

日本の大学・ 教育機関のみなさまへ

ラオス日本センターは、日本とラオスとの交流を促進するため、日本の大学・教育機関のみなさまへ以下のサービスをリーズナブルな料金でご提供しています。

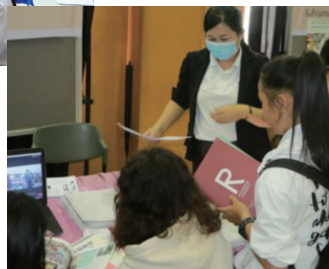
日本留学フェアの開催

日本の大学・教育機関をラオスの学生に紹介するため、毎年秋に実施しています。2021年については10月27日にオンラインで実施し、日本から9校の参加を得ました。今後もオフライン・オンラインでの開催をいたしますので、是非、ご参加ください。

なお、個別の大学等を対象とした学校・募集案内もオンライン・オフラインで随時実施しております。



現地会場からオンラインで大学の説明を聞く学生
(個別大学による日本留学フェア)



現地会場の大学ブースを訪れる学生
(日本留学フェア2020)

スタディツアーや 大学間交流のアレンジ

ラオスでのスタディツアーのアレンジをお引き受けしております。当センターで「ラオスの概要説明」や「旅行者のためのミニ・ラオス語講座」なども実施できます。

また、ラオスと日本の教室をオンラインで繋いで、学生間でのディスカッション、交流や相互理解を深めるプログラムを実施することも可能です。過去の事例として、2020年にはラオス国立大学と東京大学を繋ぎ「世界と考えるNew Normal」と題したプログラムを開催しました。



グローバル人材育成プログラム「世界と考えるNew Normal」

研究者や学生の インターン受け入れ

当センターでは査証取得支援も含め、日本の研究者や学生インターンの受け入れを行っております。



日本からの学生インターン

会場貸出・付帯サービス

当センターには、多様な種類・定員の会議室があり、貸出ができます。さらに、当センターを会場にイベントを開催される場合は、参加者募集広報、通訳、翻訳、受付、コーヒードリンクなど付帯サービスのご提供も可能です。例えば、以下のような用途でもご利用いただけます。

自治体

- 日本の自治体紹介
- 地元製品のプロモーション
- 就職フェア

企業

- 日本企業の商品・技術紹介

大学・教育機関

- スタディツアー
- 学校間交流
- 個別大学の日本留学フェア

「日本・ラオス両国間の相互理解促進」というラオス日本センターの目的に合うことであれば、上記に記載のないこともお引き受けできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

ラオス日本センターにご関心をお持ちいただいたことに、心から感謝いたします。

ASEANでの経済連携を進めるラオスにおいて、私たちは、事業活動をととして、ラオスと日本の友好関係・協力関係を築くための拠点を提供し、ラオスの社会経済発展に役立つビジネス人材育成や日本語教育、さらにはラオスと日本間の交流プラットフォームを築いていくことを目指しています。

私たちが、ラオスと日本の友好と協力のシンボルであり続けるために、より多くの人々が私たちのプログラムや活動に参加いただき、訪問してくださることを心から願っています。



ラオス日本センター所長
ポンケオ・チャンタマリー

日本留学経験11年、横浜国立大学にて学士、修士、博士(工学)取得後、ラオス国立大学教員として、主にIT分野で活躍。日本語堪能で、日本人へのラオス語教育についても経験豊富。

ラオス日本センター Laos-Japan Human Resource Development Institute (LJI)

営業受付時間 月～金 9:00-16:00 **休館** 土・日・祝

住所 c/o National University of Laos, Dongdok Campus,
P.O.Box 7322, Vientiane, Lao PDR
※ラオス国立大学内にあり、ビエンチャン中心街から車で30分程度

メール laos.japan.institute@gmail.com (日本語対応可)

電話 +856-21-720-156



日本語ホームページ
<http://www.lji.edu.la/ja/home-jp>



JICA内ホームページ
<https://www.jica.go.jp/japancenter/laos/index.html>



<日本関係機関の連絡先>

在ラオス日本国大使館

ホームページ : https://www.la.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/

住所 : Sisangvone Road, Vientiane, Lao PDR

電話 : +856-21-414-400, +856-21-414-401,
+856-21-414-402, +856-21-414-403

JICAラオス事務所

ホームページ : <https://www.jica.go.jp/laos/office>

住所 : 2nd Floor, Sacombank Building, 044 Haengboun Rd,
Ban Haisok, P.O. Box 3933,

Chanthabouly District Vientiane Capital, Lao PDR

電話 : +856-21-241-100

JETROビエンチャン事務所

ホームページ : https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/la_vientiane

住所 : 4th Fl., Vieng Vang Tower, Boulichan Rd., Dongpalan Thong Village,
Sisattanak District, Vientiane, Lao PDR

電話 : +856-21-454-774

ラオス日本センターの中庭の様子(交流スペースとして活用)